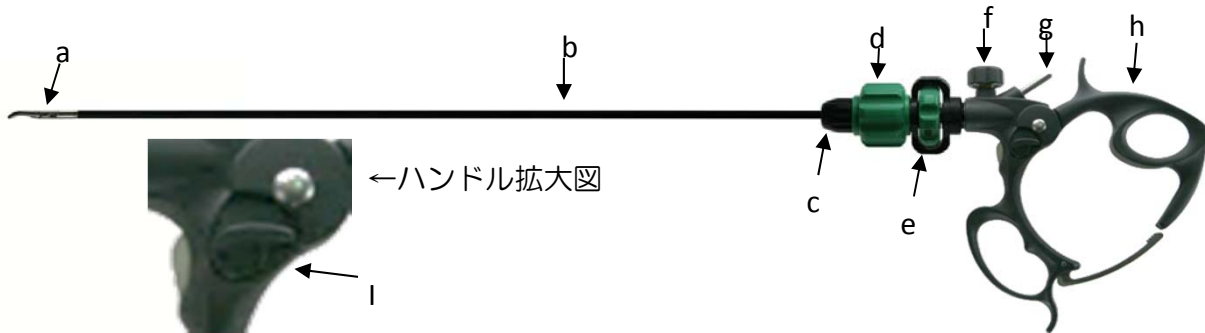


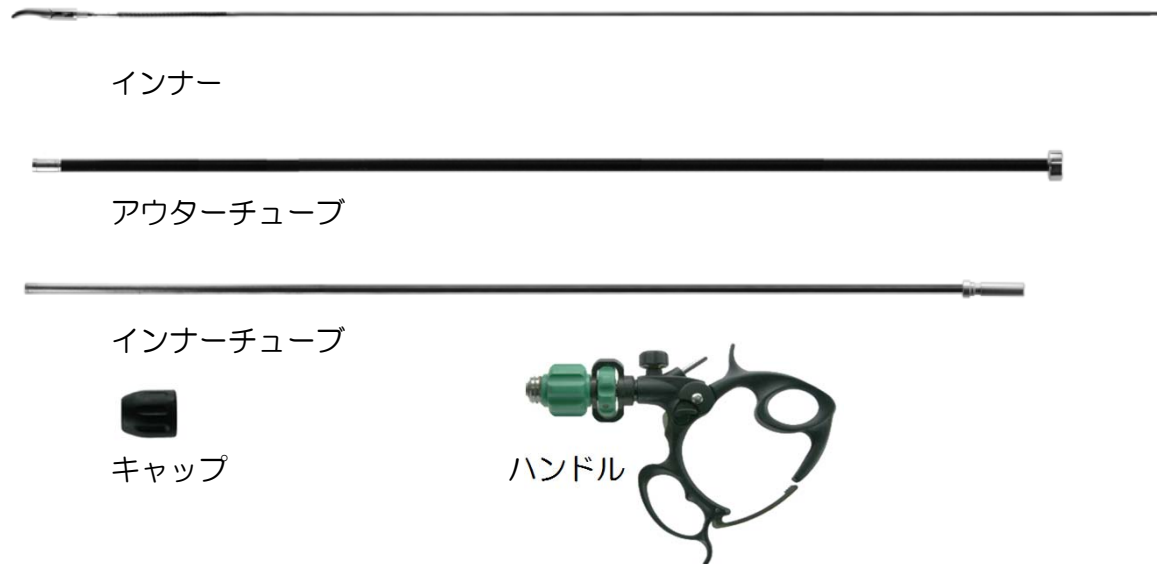
(該当製品番号：ESE2000、ESE2005.4)

【部品及び名称】



- |          |                  |                     |
|----------|------------------|---------------------|
| a. 鉗子部   | d. アングルダイヤル      | g. アクティブコード接続部      |
| b. シャフト部 | e. ローターションダイヤル   | h. ハンドル部            |
| c. キャップ  | f. ローターション固定ダイヤル | i. ラチェットON/OFF切替レバー |

【分解図】



【分解手順】

- ① cとdを持ち、cを回して固定を緩める。
- ② cをシャフトから取り外す。
- ③ ハンドルのfを操作し、ローテーションの固定が解除されていることを確認する。
- ④ dとeを持ち、dを回してシャフトとハンドルの固定を緩める。
- ⑤ ハンドルのiを操作してラチェットをOFFにする。
- ⑥ ハンドルを開いた状態にしてシャフトを引き抜く。
- ⑦ シャフトの先端(金属部分)を持ち、インナーだけを回して固定を緩める。
- ⑧ インナーをシャフトから引き抜く。
- ⑨ アウターチューブとインナーチューブを持ち、インナーチューブだけを回して固定を緩める。
- ⑩ インナーチューブをアウターチューブから引き抜く。

【洗浄方法】

- 浸漬： 酵素系中性洗剤にて浸漬(洗浄剤メーカーの推奨する手順・時間・温度を適用してください。)
- 洗浄： 付着した組織等の残留物はブラシ等で丁寧に除去してください。  
先端ジョイント部のブラシ等で除去できないときは5分以内の超音波洗浄をお願いします。
- すすぎ： 洗剤の残留がないように流水やRO水にて十分にすすぎをしてください。
- 乾燥： エアガン等を使用し、十分に乾燥を行ってください。

### 【組立手順】

- ① 部品の外観に変形等がないことを確認します。
- ② インナーチューブをアウターチューブに挿入し、回して固定する。
- ③ ②で出来上がったシャフトをハンドルに挿入する。
- ④ dとeを持ち、dだけを回してシャフトとハンドルを固定する。
- ⑤ cをシャフトの先端から通してきて、回して固定する。
- ⑥ ハンドルを開いた状態にして、シャフトの先端からインナーを挿入する。
- ⑦ シャフトの先端(金属部分)を持ち、インナーだけを回して固定する。

### 【滅菌手順】

- ① 器具をよく乾燥させます。
- ③ 高圧蒸気(オートクレーブ)または酸化エチレンガス(EOG)で滅菌してください。

### 【保守点検】

- ・ 外観上損傷等ないことを確認する。
- ・ 可動部が適切に動作することを確認する。

本製品に破損や故障が認められた場合は直ちに使用を中止し弊社もしくは購入元に連絡すること。

since 1963

株式会社平和医療器械

東京：03-5966-4388 山口：0835-22-3658  
宇部：0836-44-5021 [www.heiwairyo.co.jp](http://www.heiwairyo.co.jp)

HP：“平和医療”で検索可

製造販売業許可番号 35B2X10001